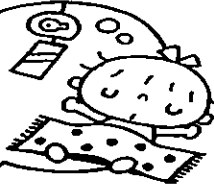




8月のほけんだより



平成29年8月1日
みなみひの保育園



今年の夏はお天気もよく、水、プール遊びを楽しんでいる子どもたちです。これから、旅行など遠出の計画を立てているご家庭も多いかと思えます。外出先では、安全に気を配り、楽しい思い出をたくさん作ってきてください。



暑い夏を元気に乗り切るポイント

1. 水分補給

大量に汗をかくと、脱水症状を起こし、熱中症の原因にもなります。こまめな水分補給を心がけましょう。

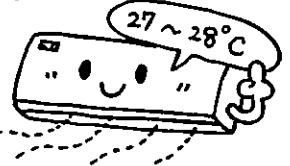


2. 皮膚のケア

こまめに汗をふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔に保ちましょう。

3. 紫外線対策

外出時は帽子をかぶり、日焼け止めを塗るなどの紫外線対策も忘れずに。



4. 室温管理

高温・多湿など条件がそろえば、室内でも熱中症は起こります。エアコンをじょうずに使いましょう。ただ、冷やしすぎには要注意。設定温度27~28°Cを目安にしましょう。

野山に出かけるときは

自然豊かな野外に出かけるときは、虫刺されや植物かぶれが心配です。次のような点に注意しましょう。

白っぽい帽子

スズメバチは黒いものや黄色いものを攻撃する習性がある。帽子は白っぽいものをかぶる。

長そで&長ズボン

草木の多い場所では、露出の少ない服装に。

フリルのついた服は避ける

ひらひらした服は、ハチを巻き込むことがある。



大声で騒がない

大きな音はハチを刺激しやすい。大声で騒いだり、音楽をかけたりの音は避ける。

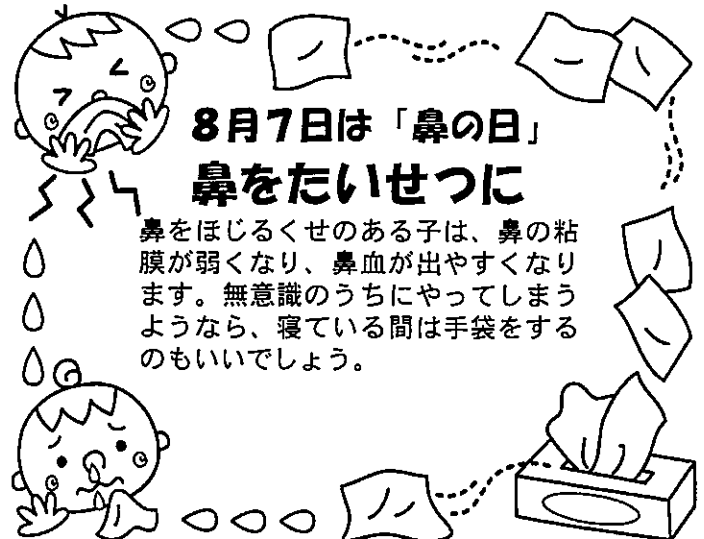
ジュースを飲みながら歩かない

甘いにおいはハチを誘う原因にもなる。香水やヘアスプレーも危険。

今、流行ってます！手足口病！！

春から夏に多く、手のひら・足の裏・口の中やのどに米粒ほどの水泡ができます。口の中やのどの水泡がつぶれると痛み、食べたり飲んだり困難になることがあります。熱が出て37°C~38°C、1~3日で解熱します。水泡も1週間くらいで消えます。おむつ交換後手洗いで予防をします。

登園する際は、保護者記入の「登園届」が必要です。



8月7日は「鼻の日」

鼻をたいせつに

鼻をほじるくせのある子は、鼻の粘膜が弱くなり、鼻血が出やすくなります。無意識のうちにやってしまうようなら、寝ている間は手袋をするのもいいでしょう。